

街かど gallery

立花町上辺春
坂本 ヨソノ

子供の頃から絵が好きで、いつか絵を描きたいと思っていました。若い頃にはその余裕はありませんでした。

公民館講座で水墨画があるのを知り勉強する機会に恵まれました。七十才過ぎての手習いです。喜んで入会しました。中島美代子先生のことは親戚の者より聞いていました。入会すると先生は優しく丁寧に教えて下さいます。ただ一筆の墨の濃淡で描く線の大きさを使い分ける事で画が出来上がる水墨画の奥深さを知らされます。画を描く事も大切ですが回りの人との交流も大切です。年を重ねても楽しく生き甲斐として続けていきたいと思っています。この画は昔の我が家を思い出しながら麦わら屋根の風景を描いてみました。

八女市本町で65年、釣具店フィッシュオンかどやを営まれている今里準さんは今年米寿を迎えられる、釣りファンの間では知る人ぞ知る存在である。小さい頃から釣りが大好きで、釣技は幼くして名人級の折り紙つき。釣りを通じて多くの感動を体験した今里さんは、趣味の域を超え職業へと繋がっていった。やがて数えきれぬほどの交友が生まれ、人脈の豊富さに氏の人柄がうかがえる。また、磯釣りのパイオニアで、磯釣り憧れの釣り場、男女群島（東シナ海に浮かぶ孤島）も、かつては瀬渡し船もなく、五島の漁師にお願いをし、数日がかり命がけの釣行であったという。何より、理解ある奥様があってのこと…。男の我が儘であることは言うまでもない。道具やアクセスなども不十分な時代だったが、それでも行きたいと心をかき立てるエネルギー源は何だったのか？

「非日常的な場所に身を置いたときの不安と感動、魚が住む異次元の世界から針、テグス、竿を通して伝わる魚信、掛けてからの格闘に快感を覚えるのです。釣りは審判のいないスポーツ、自分の釣技と魚との一対一の勝負、体感ショックに全身から噴出すアドレナリン！ただのノボセモンですよ」と語られる。豊富な経験を基に大物釣用のアラ竿や石鯛竿等、理想とする竿作りの研究にも尽力、その成果は釣具メーカーより発売され多くの太公望達に感動を与え続けている。今では釣りをされることは無いが、熱く語る言葉には人生の感動と快感の蓄積が滲み出て、瞳の奥に少年のような優しさを感じた。（H・N）



輝

尾張徳川家の至宝

国宝 源氏物語絵巻 竹河(二) 平安時代 12世紀
徳川美術館所蔵 展示期間: 11/12~11/24

今日の山柳

黒木西小学校 二年
さとうこうたく

やきゅうがんばってるよ

「月々に月見る月は多けれど月見の月はこの月の月」の歌の通り、九月の十五夜は、中秋の名月である。暑さも和らぎ、空気が澄み、秋草や虫の音色の中で、一年中で一番美しい満月の風情を、団子と芋と共に楽しみたい。

名月を取ってくれろと泣く子かな（一茶）
八女川柳会 安達 昇

ぼくは、二年生の春からやきゅうを、はじめました。おにいちゃんやきゅうをしていてたのしそうだったのでもよくはじめました。れんしゅうにいきははじめのころは、とてもきんちようしていました。ただおにいちゃんやきゅうがいたのでたのしかったです。いまは、二年生のぶんが四人いるのでとてもたのしいです。これから、いっぱいばいれんしゅうしてあいにくにできるようにしたいです。そしておにいちゃんを、おいぬきたいです。次は、うめのとくしんくんを紹介します。

健康万歳 ③

生活習慣病

従来は成人病と言われていた「生活習慣病」が検診の中に取り入れられた。一時期「メタボ」の流行語までうんだくらいである。

内臓脂肪の蓄積が脳血管障害や心臓病などのリスクを高めるとい理由からまず腹囲測定を行い、血糖、血圧、血中脂質が基準値以上2項目あればメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者として指導を受けることになる。

腹の周りが男性で90cm、女性で95cm以上あれば腹部脂肪を指摘されるが、必ずしもすべてが内

臓脂肪とは限らない。加えて血液検査で以上3項目のデーターの内一つでも正常値を上回るとメタボ予備軍ということになる。

私も検診に携わって10年以上になるが、これ等の検査値異常が60%に及ぶのに驚いている。中でも脂質異常は3人に一人の高率を占め、高血圧、高血糖などを含めると全体で60%近くが何らかの指摘を受けている。

健康に関心を持つのは結構だが、中にはこれがストレスになり疾病を誘発する原因ともなりかねない。

健診は病人を作ることではなく、普段の健康をチェックする機会であり、すぐに薬と結びつけるのは良くない。喫煙や飲酒

などの嗜好習慣や運動や食事等の生活習慣を見直すことが先決で、それから医者に相談しても遅くはない。薬には副反応があることも忘れてはならないことだ

ドイツには「トラック一杯の新薬よりも、自転車一台」という諺もあるが、コレステロール値や血圧、血糖値を下げるには運動もなおざりにしてはならないということである。

私はチョイメタボがむしろ長生きの秘訣と思ひ受診者にはそのように説明している。「メタボ」も少し色あせた感じになって来たと思うのは私だけなのかな。

林 榮一
(医師・八女市立花町)

眩き ファインディング・ニモ

海を見ると、数年前のディズニー映画「ファインディング・ニモ」を思い出す。海中の魚達の話だ。オニカマスに食べられたクマノミの家族。生き残ったのは父親マーリンと傷が入った卵一つ。その卵がかえったのがニモだ。傷の影響で生まれつき片方のヒレが成長せず小さい。そのため泳ぎも遅いニモを心配性のマーリンは過保護に育てる。その過保護さにうんざりし、反発して一人で泳ぐニモを人間達が捕まえた。そこからマーリンの息子探しの旅が始まる。途中で、能天気な健忘症のドリーと友達になり一緒に旅する物語だ。この映画にいろんなメッセージを感じた。

一つは子育てについて。捕らえられた後、人間の水槽で飼われたニモは他の魚達と一緒に何度も脱走を図る。成長が小さいニモだが、いつの間にかたくましく育っているのだ。できないと決め付けて囲うばかりではなく、やってみることを経験させてじっと見守るのも大事な親の役目なのだと。

そして最も感じたのはドリーの存在。「一緒に探してあげるよ」と、人懐っこいけれど一瞬前の記憶も忘れがちなドリー。彼女の相手をしていては時間の無駄だと、マーリンは何度も別れて行こうとする。一方、ドリーは不思議とマーリンと一緒にいると記憶を失いにくい。「あなたといると忘れないみたい。一人で行かないで」と、息子探しの役に立とうと一生懸命だ。ドリーは文字が読める特技を持つ。そのためニモの居場所の手がかりを見つけ出し無事に親子は会うことができた。マーリンは「一緒にいてもメリットがない」そう思ったこともあるドリーに、結果、助けられているのだ。「きっと見つかるわよ」というドリーの励まし、お気楽さ、一途さにも救われている。

私達だって……障害や病気を持つ人、性格・考えが自分と全く違う人、相手してやっているのだと自分が思っている相手に、実は自分の方が助けられていることに気づいていないことが多い。メリット・デメリットなんか関係なく、純粹に友達を思い、友達の役に立とうとするドリーの気持ちが温かく眩しく感じた。相手の「できない点」は目につきがち。馬鹿にしがち。だけど、できないことなんか関係の無いところで相手に癒されていることに私達は気づいていないのかもしれない。 森 志穂

希望の方はハガキで株式会社東兄弟。チケットの発送をもって発表とします。応募締め切りは9月12日着迄。応募多数の場合は抽選によりま

期間 10月12日~12月8日
会場 九州国立博物館
■ペア5組(10名)の方へ
招待券プレゼント